

2025 年度 3 月 理事会 議事録

日時：2026 年 3 月 12 日（木）19：00～20：43

開催方式：オンライン

場所：各自自宅または職場

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、奥原孝幸（副会長）、遠藤陵晃（副会長）望月強併（事務局
長）、玖島弘規、神田崇央、澤口勇、野本義則、佐々木秀一、神保洋平、村仲隼一郎、佐藤隼、佐藤範
明、石川恵美子、佐伯まどか

出席監事：錠内広之、野々垣睦美

欠席理事：青木啓一郎、山勢健太郎

I. 会長より挨拶

年度最後の理事会になります。今年度のまとめをした上で次年度に繋いでいければと思います。

神奈川県議会において作業療法(士)に関する質疑がされており、黒岩知事より「街角作業療法士の設置」につ
いての回答がありました。今年度取り組んできた県庁訪問が徐々に実を結んできているかと思えます。

また日本作業療法士協会の動きとして、5月30日(土)に社員総会が開催され、翌5月31日(日)に偲ぶ会が開催
される予定となっています。また連絡が来たら共有します。

II. トピックス

1. 2026 年度事業計画・予算案について

全部署から再度提出された内容を三役会にて確認を行なった。例年の事業を継続しつつ新規事業も含まれている。
予算についても確認を行い、当会の財政状況で問題ないことを確認した。

→賛成多数で承認。

2. よんぱち報告について

①日本作業療法士協会理事竹中副会長が 2028 年参議院選挙に立候補予定となっている。

②日本作業療法士協会の代議員選挙においてもクォーター制を導入していく方針。

③「よんぱちだからできること」としてブロック別 WG が設置された。関東甲信越ブロック代表として当会神保
会長が推薦された。取り組みとしては、新入会員獲得に向けた取り組みや学生と有資格者をつなぐ架け橋を
担っていく。

3. 神奈川県医療関連団体連絡協議会について

神奈川県の医療関連団体との連携強化を図るため、協議会設置の打診があった。まずは看護協会が主体となり活
動を行なっていくが当会としても参加しても良いのではないかと。本年 8 月 2 日に「進路発見セミナー」の開催を
検討しており、当会の参加依頼も来ている状況。医療職が連携をとりながら人材確保に繋げていける活動だと思
われる。まずはセミナーへの参加の可否について審議を行いたい。

→賛成多数により承認。

4. ACVS 委員会発足について

神奈川県内の脳神経外科医、脳神経内科医が中心となり脳卒中の前触れ発作(ACVS)に対する啓発活動を行なっ
ている団体。ACVS に関する啓発活動に多医療職で取り組んでいきたいとのことで当会にも協力依頼があった。
多職種合同で県民への啓発を進めていく予定。まずは当会として参加協力していくか否かを審議し、賛成の場合
は委員 1 名の推薦をお願いしたい。

→参加協力について賛成多数で承認。委員の推薦については後日情報収集を行う。

5. 部員の手当について

部員の手当てについてアンケートを実施した。審議は4月に行う予定のため、それまでに各自アンケート結果を確認し、それを踏まえた上で4月の審議に臨んで頂きたい。

Ⅲ. 審議事項

1. 定款・規程変更について

会員規程（登録氏名）第5条において旧姓使用及び責任について明記した。

選挙管理規程（氏名の取扱い）第3条において旧姓使用及び責任について明記した。

→賛成多数で承認

2. 県学会運営スタッフ区分について

実行委員、OTスタッフ、学生スタッフ、外部スタッフの4区分とした。それぞれに区分ごとに待遇を設けた。基本的には参加費免除(OTスタッフ以外)、交通費支給、昼食支給、謝金原則なしとなる。

OTスタッフの公募については県士会ウェブサイトの活用や声かけで集める。謝金についても原則はなしとする。学生スタッフについても演題が聞けるような対応がいいのではないかな。

→賛成多数で承認。

3. 県学会運営システムについて

アンケート結果を共有。三役会では実行委員の負担軽減を中心にシステムを検討し、様々な業者を使いながら使用感を確かめて行ってもいいのではないかと意見が挙がった。

→運営システム osca の導入について賛成多数で承認。

4. 平塚市介護審査会委員推薦について

現在委員の田中雅士氏（関東中央病院）を継続して推薦する。

→賛成多数で承認。

5. 研修会費規程について

「研修会参加費設定・運用マニュアル(仮)」について共有。

基本的には1時間当たりの金額設定として、区分に応じて金額が変動する。

マニュアルと異なる金額にする場合は理事会承認とする。

懸念事項としては金額が上がることで参加者数が減少することが予想される。そのため効果検証を行い状況確認を行なっていく。マニュアルで運用ではなく規程に変更する。

→賛成多数で承認。

Ⅳ. 報告事項（各部署・理事・三役）

1. 理事会資料提出方法変更について

Google ドライブ内のエクセルシートに直接入力する方法へ変更。4月度理事会資料から運用開始。

2. メールサーバー移行について

メールサーバーの移行が完了した段階で県士会 Google アカウントでの運用を開始する。それに伴い Slack は閉鎖し Google に統一していく。

3. 日本作業療法士協会地域社会振興部の報告について

「第三回地域事業支援会議」について資料を用いて共有。

2026年度重点施策、アクションプランについて説明。制度対策部との協業となる5歳児健診や学校作業療法室に関する方向性などについて共有された。今後、地域では身体のみでなく精神・発達領域へのOT参画を目指してほしい。2026年度第一回地域支援事業会議にて改めて構想を話す予定。これからは発達／障害／高齢／困窮／就労を丸っとみれる専門職が求められる。

【その他報告部署・理事】

1. 代議員選挙について

Aブロック、Bブロックともに定数に達した。

2. 会員ワーキングからの報告について

定期社員総会での報告を作成している。総会において活動の報告を行う予定。

3. 2026年度定期社員総会について

2026年5月10日(日)午後から開催。詳細の集合時間やタイムスケジュールについては後日案内予定。

合わせて議案書の作成も期日までにお願いしたい。

4. 2025年度期末監査について

2026年4月4日(土)に実施予定。期日までに監査書類を作成し提出をお願いしたい。

期日厳守で提出

V. 監事より

錠内監事

色々な課題に向き合い解決して来れたと思う。もう少しで任期中の1年が終わるが次の1年もぜひ積極的に取り組んでいてもらいたい。

野々垣監事

研修会の講師謝金については今までも議論されてきていたが参加費については議論が少ない状況であった。とても前向きな検討ができていいと思う。また事務局の負担軽減で資料変更などもぜひ進めてもらいたい。

監査書類についてはくれぐれも不備がないように準備して頂きたい。

議事録署名人	議長：	神保	武則	印
	理事：	田中	ゆかり	印
	理事：	佐々木	秀一	印
	理事：	野本	義則	印
	理事：	村仲	隼一郎	印
	監事：	錠内	広之	印